



1-2. 「相互運用標準モデルVER.5.00」の 改訂・追記項目（技術仕様）について

技術仕様のアップデート

- 最新は「初等中等教育におけるシステム間連携のための相互運用標準モデル」Ver.5.00β
- 運用に関する指針をⅢとし、技術仕様はⅡにまとめた。
- これまで学習eポータルを中心に記述していたが、学習eポータル、学習ツール、校務支援システム、LRSの4つのコンポーネントごとに記述をまとめて分かりやすくした。
 - ✓ それに伴いこれまで明示されていなかったコンポーネントごとの機能要件などを整理した。
- 変更内容は基本的に第1回専門家会議でご報告したものであり、技術仕様として大幅な変更はない。

技術仕様のアップデートの詳細

- 委員からも要望があった年次更新の負担軽減のためのユーザー属性情報の学習eポータルから学習ツールへの連携の標準化に関し、今まではOptionalであった項目を検討して整理し、より使いやすくした。
 - ✓ 学習ツールから要望があれば、これまでのUUID、学校コード、Role情報に加えて、学年、クラス、名前をLTIのパラメーターとして渡せるようになっている。
- MEXCBTのアップデートに伴い一部の記述を明確化している。
- 技術仕様部分の「将来像と課題」を状況に合わせて前バージョンからアップデートした。
 - ✓ 委員から要望があったOneRoster RESTやデータに対するアクセス権の整理などを追加。